

令和2年度 学校評価書(中間評価)

※1段：R2中間
2段：(R1最終)

輪島市立東陽中学校

重点目標	外部アンケート			自己評価			達成度状況の考察(○)と改善方法(●)	
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	評価指標	達成度評価規準	評価		
1 確かな学力の向上	学校は、学力向上に努力している。	96 (91)	各教科の授業内容はよくわかる。(全教科平均)	95 (92)	【努力指標】 「魅力ある授業」を目指して授業改善に努め、生徒が「主体的・対話的・深い学び」を実行できている。	◆授業アンケート(全教科平均) ◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	○「授業がよくわかる」の肯定評価は昨年度の数値を維持しつつ、3%向上。「魅力ある授業」を目指して授業改善に努めている成果と考えている。しかしながら、わかったことを活用する力が十分ではなく、授業終末の振り返りの場面や検証問題の結果からはまだ授業改善の余地がある。 ●基礎の定着を図りつつ、活用する力をつけるために、課題に負荷をかけたり資料を複数準備し考察する場面を設定していく。振り返り場面で、生徒が達成感を感じ、学習意欲を喚起できるように、授業での展開場面を充実させていく。	
			課題について自分の考えを書いている。	93 (94)				
			自分の考えを授業で1回発言をしている。	93 (92)				
			先生の話や友達の意見をしっかりと聞いている。	100 (*)				
			わからないことや疑問に思うことを聞いている。	93 (92)				
			自分の考えをわかりやすく説明できる。	82 (66)				
			話し合う活動を通じて、自分の考えが深まっている。	93 (89)				
	授業の振り返り活動は学びの確認や学習意欲につながっている。	74 (*)						
	子どもには、家庭学習の習慣がある。	70 (80)	毎日の課題や宿題を提出している。	89 (94)	【努力指標】 各学年の目標家庭学習時間を達成できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	○昨年度から提出方法を全校で統一したことで、宿題の提出にリズムができています。提出できない生徒は固定化している。また、学習時間の達成について、生徒の回答と保護者の回答に「ずれ」が見られる。 ●提出できない生徒へは個別対応でやり切ることを目指す。学習時間については課題の質や量を調整しながら達成できるように工夫する。	
			毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。学年目標の家庭学習に取り組んでいる。(1年60分 2年70分 3年90分)	93 (92)				
子どもは、睡眠を7時間30分とっている。	93 (74)	睡眠を7時間30分とっている。	85 (77)	【努力指標】 家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	○睡眠時間・朝食の摂取は昨年度より改善。 ●適切な睡眠時間は授業の集中力に大きく影響している。家庭とも連携しながらよりよい生活習慣の定着を学校全体で図っていく。		
子どもは、朝食を食べている。	100 (91)	朝食を食べている。	96 (89)					
子どもは、決まりを守って生活している。	100 (94)	*	*					
保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	52 (71)	ゲーム・インターネット使用は長くしていない。(1時間程度)	44 (37)					
保護者として、輪島市ルール(9時以降はしない)や、家庭内ルールを守らせている。	41 (59)	9時以降、SNS・ゲーム・インターネットはしていない。	33 (43)					
2 主体的に行動できる生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	93 (94)	学校は楽しい。				93 (91)	【努力指標】 部活動や生徒会・委員会活動や各種行事などを通して、充実した学校生活がおくれるように指導できた。
			学校は、行事が充実するように努力している。	*	部活動で自分は鍛えられている。	89 (94)		
	学校は、子どもの表現の場を大切にしている。	100 (100)	集会等で自分の考えを伝えている。	67 (54)				
			物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。	93 (89)				
			難しいことにも、失敗を恐れなくて挑戦している。	74 (83)				
	子どもは、自分から挨拶ができる。	96 (97)	自分から挨拶ができる。	85 (97)	【努力指標】 挨拶やマナーなど、中学生らしくその場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	○挨拶に関しては、2年生の一部の回答が数値に影響した。 ●教師間でも挨拶を求める姿勢にばらつきが見られた。生徒会で決めた「語先語礼」「気持ちのよい挨拶」を学校全体で求めていく。	
	子どもは、家の手伝いをしている。	59 (53)	家で手伝いをしている。	70 (66)				
	子どもは、将来の夢や希望を持っている。	70 (68)	将来の夢や希望を持っている。	74 (77)	【努力指標】 将来の夢を実現するために、キャリア教育を推進できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90%以上 B：75%以上 C：60%以上 D：60%未満	○将来への展望の数値は7割を維持。これまでの活動の成果と考える。 ●今後も地域人材や専門職につく人材を活用したキャリア教育と連動させ、生徒自身がもつ大きな可能性を自覚させていく。	
	学校は、生徒理解に努め、適切に対応している。	96 (97)	自分にはよいところがある。	70 (74)				
	保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	96 (100)	褒められたり認められたりする時がある。	85 (77)				
保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	96 (100)							
3 保護者・地域との絆	学校は、生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	100 (100)	*	【努力指標】 学校だよりや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。	◆保護者アンケート A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満	○保護者や地域の方々からの学校への協力・支援が大きく、連携していただいていることに感謝したい。その思いに応えることができるように職員で生徒の育成に努めたい。		
	学校は、通信等で方針や生徒の様子をわかりやすく知らせている。	100 (100)	*					
	保護者として、学校からの通信に目を通している。	96 (97)	*					
	保護者として、行事があるときは都合をつけて参加しようとしている。	85 (94)	*					
	*		東陽中学校の生徒であることに誇りを感じる。				96 (94)	
	*		地域の人たちは、やさしく、深い絆を感じる。				96 (94)	
*		将来地元に戻って働き、生活したいと思う。	59 (54)	【努力指標】 生徒に対し、ふるさとや地域に目を向けさせ郷土愛を深めることができた。	◆生徒アンケート A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満	○生徒の学校や地域への思いは高く安定しているが、将来に関しては夢や目標の数値の低さと連動し、伸び悩んでいる。 ●地域を守り・活性化に尽力する人材を活用しながら、キャリア教育の充実を図る。		